

植物多様性センターの「ヤマホトトギスのムカゴ」

ヤマホトトギスは丘陵地や山地で、一番よく出会う身近なホトトギスです。学習園奥多摩ゾーンのカツラの木の下にも、種子から育てた数株を植栽しています。ところが、その中の1株にちょっと変わったものが見ついているのを見つけました。洋ランの高芽そっくりのムカゴです。小さな芽に短い根が数本ついています。夏の高温と乾燥で果実がつかないだったので、ムカゴをつけて挽回しようとしているのかもしれない。



9月中旬: 学習園奥多摩ゾーンで咲いたヤマホトトギス



9月中旬: 丘陵地の湿り気のある崖地で咲いたヤマホトトギス



10月初旬: 学習園奥多摩ゾーンで葉腋にムカゴのついた状態



9月中旬: 高尾山の麓で多くの果実をつけた状態